

■ 2023年度 事業計画 奏（共同生活援助）

はじめに	前年度も同様にコロナ禍で様々な制限を受けながらの1年となりましたが、少しずつですが規制もゆるくなってきました。1度は、閉鎖の事態となりましたが、その後メンバーの皆さん、スタッフ共に、大きく体調を崩されることなく過ごす事ができました。それぞれ不安も大きいと思いますが、明るい声の「ただいま」が今日も響いています。もうしばらくは我慢しながらの生活が続きそうですが、今できることを一生懸命に、2023年度も健康な暮らしを支えていきたいと思っております。
事業所の基本方針	それぞれが希望する暮らしを支えて行きながら、メンバーの皆様が安心して暮らせるグループホームであるよう努めます。
事業所運営	昨年度から開所日が1日増え、それに伴い新しいスタッフも増え、毎日2名体制で支援しています。これからも安定した体制を維持して行く為、3つのグループホームで協力、共有して行きたいと思っております。
利用者支援	開所日が増えましたが、今ではメンバーの皆さんも特に問題なく過ごされています。今後も、寄り添いながら時間をかけて不安な事柄を安心へと転化させて行ければと考えています。また健康面などについては徐々にグループホームが主体となり、看護師とも相談をしながら支えて行きます。
今年度重点目標	変わらない支援の形を継続して行きます。会議などを通し、メンバーの皆さんの支援については実践と振り返りを通して質の高いサービスを提供して行きます。特に、健康面にも気をつけて参ります。
活動計画	年間計画では主だった活動などは計画しておらず、2023年度も休日などはグループホーム内での活動を予定しております。状況により…。
豊かな生活を送るための取り組み	昨年度に引き続き、コロナの影響もあり外出活動なども十分には行えていない状況ですが、季節の行事（クリスマス、誕生日会など）を行ったり、パレットと合同で何か余暇的な活動を計画などして行きながら、自由に外出ができる日を待ちたいと思っております。
その他・防災対策	年間3回の避難訓練(火災・地震・夜間)をパレットと合同で行います。夜間設定の時は交代で一人の職員で訓練をしていきます。町内の訓練なども可能な限り参加が出来たらと考えています。
利用者の状況	28～48歳の女性4名
職員の状況	常勤職員1名、パート職員4名・清掃パート職員1名